

【国語科】

**表現活動に意欲的に取り組む生徒を育てる授業をめざす。**

授業改善に向けて

《授業改善の3つの視点における重点目標》

- 視点①：課題を明確にする。
- 視点②：文章を読んだり話を聞いたりした上で、自分の考えを表現する場面を設定する。
- 視点③：個々や全体に対する支援や言葉掛けを工夫する。

《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

- \*具体的な課題の提示。(視点①)
- \*生徒が主体的に考えて取り組めるワークシートの工夫。(視点②)
- \*互いの意見や考えを交流する話し合いやグループ活動の工夫。(視点②)
- \*生徒の状況に応じた支援や言葉かけ。(視点③)

《学力向上の見取りのための手だて》

- \*作品や発表、ワークシートへの取り組み
- \*学習振り返りカードの活用。

【社会科】

**資料の読解力を高め、学んだ知識を活かすなかで、  
自らの考えを広げる授業をめざす。**

授業改善に向けて

《授業改善の3つの視点における重点目標》

- 視点①：授業のねらいを明確にし、興味関心のもてる課題の設定を工夫する。
- 視点②：資料を適切に分析し読解する力をつける。自分の考えを表現する場を設定する。
- 視点③：社会的事象や身近な話題を有効に活用し、課題に迫る授業を展開する。

《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

- \*資料を用いた活動やレポート課題を積極的に取り入れる。(視点①②③)
- \*発表の形を工夫し、表現の場を設定する。(視点②)
- \*5問テスト・単元テストの継続的な実施(視点③)

《学力向上の見取りのための手だて》

- \*発表の場の工夫。
- \*生徒どうしの意見交流の場の設定。
- など

## 【数学科】

**生徒一人ひとりがいきいきと活動する授業をめざす。**

授業改善に向けて

### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

視点①：数学の有用性が感じられる課題を用いる。

視点②：基礎的事項の定着の場と、活用力を高める場を設定する。

視点③：「できる」自信と「わかる」喜びを体感させる。

### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

\*生徒一人ひとりの手元が活動し、同時に念頭活動している授業づくり（視点①）

\*別解や発見(気づき)、考えが自由に発言できる授業(雰囲気)づくり（視点①）

\*発表ボードの使用や、班活動・ペア学習等の場を積極的に設定した授業づくり（視点②）

\*積極的な中間指導や支援、個別の丸付け等を通して、個に応じた言葉かけがある授業づくり（視点③）

\*生徒の興味関心を高め、理解を助ける教具を積極的に活用した授業づくり（視点③(②①)）

### 《学力向上の見取りのための手だて》

\*振り返りカードの活用。

\*生徒の意識調査の活用。

など

## 【理科】

**自然の現象や事象について、自分の考えをもち、それを表現する力を伸ばす授業をめざす。**

授業改善に向けて

### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

視点①：ポイントやねらいを分かり易く。興味をもてる実験・観察教材の準備。

視点②：自然をよく見て、考える場をもつ。自然から学ぶ。

視点③：着眼点のよさや鋭さ、考えのユニークさを大切にする。

### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

\*興味・関心をもつ教材を。（視点①）

\*ポイントやねらいを絞る。ワークブックで前時の復習を。（視点①）

\*分かり易くかつ思考を伴う発問を。（視点②）

\*実験や観察、思考の場を大切に。グループ内やグループごとの意見交流を。（視点②）

\*生徒をしっかりと観察し、状況に応じた支援や励ましの言葉掛けを。（視点③）

\*生徒の発見や気づきを大切に。（視点③）

### 《学力向上の見取りのための手だて》

\*学習振り返りカードの活用。

\*実験観察への参加率を100%に。

\*発問に対し、90%以上の生徒が自分の考えをもつ。

\*ワークブックの達成率を90%以上に。

## 【英語科】

**生徒同士が学び合う場面がある授業をめざす。  
英語を「読んで」理解したことを「話す」「書く」につなげる授業をめざす。**

### 授業改善に向けて

#### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

- 視点①：ポイントやねらいを明確にする。
- 視点②：「話す」「読む」「書く」という言語事項での課題を工夫し、表現する場面を数多く設定する。
- 視点③：発想や着眼点のよい部分を相互に評価する。

#### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

- \*表現するためのスモールステップを踏む。(視点①)
- \*表現する場面の設定を工夫する。(視点②)
- \*発表や評価の仕方を工夫する。(視点③)

#### 《学力向上の見取りのための手だて》

- \*定期テストの表現する部分での無回答率が下がる。
- \*小テスト、単元テストでの正答率が上がる。

## 【音楽科】

**生徒一人ひとりが意欲的に表現する授業をめざす。**

### 授業改善に向けて

#### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

- 視点①：生徒が演奏したり聴いてみたい曲の準備や曲の選択。
- 視点②：グループ別や男女別活動を取り入れる。
- 視点③：模範演奏にふれる機会を多くする。

#### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

- \*興味・関心を高めるために、題材に効率よく迫れる教材を選定する。(視点①)
- \*曲想をつかませ、練習にイメージをもたせる。(視点②)
- \*小グループによる発表と支援の機会を多くする。(視点③)
- \*厳選されたDVDやCDを使い、よりイメージを喚起出来るようにする。(視点③)

#### 《学力向上の見取りのための手だて》

- \*\*学習振り返りカードの活用。授業内観察による達成感の把握。
- \*パートごとの相互評価や自己評価の活用。
- \*みんなと一緒に共感的な活動ができるようにする。

## 【美術科】

**生徒自ら意欲的に取り組み、  
それぞれの“思い”の表現を大切にした授業をめざす。**

### 授業改善に向けて

#### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

視点①：興味・関心がもてる題材の選定。

視点②：掲示作品に力を入れ、導入を大切にする。

視点③：生徒と教師の人間関係を深めるため、授業のいろいろな場面で声掛け、話しをする。

#### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

\* アイデアプリントの活用（視点①③）

\* 振り返りプリントの活用（視点②③）

\* 音楽の活用（視点③②）

\* 作品鑑賞の充実（視点②）

#### 《学力向上の見取りのための手だて》

\* 振り返りプリントの活用。授業内での観察。

\* 作品の提出においては、全員が作品を完成できるようにする。

## 【保健体育科】

**一人ひとりが自分やグループの課題を理解し、  
解決に向けて意欲的に取り組める授業をめざす。**

### 授業改善に向けて

#### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

視点①：種目選択性の導入。

視点②：個人及びグループの課題をもたせ、課題解決に向けた方法を考える。

視点③：段階に応じた支援。

#### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

\* 種目全体のねらいと毎時間の目標の明確化。（視点①）

\* ねらいに迫る有効な教具等の工夫。（視点①）

\* グループミーティングで個々の課題を出し合い、克服する方策を。（視点②）

\* 個人、グループの目標や課題の把握と段階に応じた練習方法や資料の提示。（視点②）

\* グループ内やグループごとの相互評価。（視点③）

\* 個人ノートや班ノートの有効活用（視点③）

\* 進歩や努力点・工夫点等の把握と励ましの言葉掛け。（視点③）

#### 《学力向上の見取りのための手だて》

\* 個人ノート・班ノートの活用。

\* グループ内やグループ毎の相互評価の活用。

\* 単元末の技能テストでは70%以上の基礎技能の向上。

## 【技術・家庭科】

# 生徒がいきいきと活動できる実践的・体験的な授業をめざす。

### 授業改善に向けて

#### 《授業改善の3つの視点における重点目標》

視点①：生徒自身の実生活に結びつく題材を設定する。

視点②：生活に必要な基礎的な知識と技術の習得と活用する場面を設定する。

視点③：実践的・体験的学習の学習形態と評価の工夫、及び生徒の実態把握に努める。

#### 《3つの視点に基づく具体的な授業改善の方策》

##### ＜技術分野＞

- \* 実生活に活用できる課題を設定する。(視点①)
- \* 実践的な態度の育成につながる課題を生活の中から設定する。(視点①)
- \* よりよい生活につながる実践的・体験的な題材を工夫する。(視点②)
- \* 実生活につながる学習活動を工夫する。(視点②)
- \* 生活に根ざした内容での小テストを実施する。(視点②)
- \* 学習形態の工夫、課題解決学習や反復学習により、基礎的な知識や技術を習得する。(視点②)
- \* 作品の提示により、関心・意欲を高める(視点③)
- \* 個に応じた指導の工夫や評価。(視点③)

##### ＜家庭分野＞

- \* 自分の生活を振り返り、よりよい生活をめざそうとする課題を設定する。(視点①)
- \* 自己の生活改善のための課題を設定することで、課題解決の力を向上させる。(視点②)
- \* 暗唱や反復学習の形態の工夫、小テストの実施などで知識の定着を図る。(視点②)
- \* 家庭での実践課題を投げかけ、実技テストを実施して技能の向上を図る。(視点②)
- \* 一人で考えたり、ペアやグループで話し合ったり発表し合ったりすることによって学習の深化・拡充を図る。(視点②)
- \* 学習のねらいに迫る体験的学習を取り入れて興味関心を高める。(視点③)
- \* 多様な学習形態を取り入れ、プラスの言葉での相互評価で意欲を高めさせる。(視点③)

#### 《学力向上の見取りのための手だて》

##### ＜技術分野＞

- \* 実践的・体験的活動での評価。(作品、授業内観察)
- \* 小テストによる評価。
- \* 学習振り返りカードの活用。

##### ＜家庭分野＞

- \* 実践課題の取り組みをカードで提出させ、その内容を評価する。提出率 80%以上。
- \* 小テストの点数で評価する。正答率 80%以上。
- \* 授業振り返りカードやアンケートで、関心をもてる効果的な学習方法を検証する。
- \* 発表場面や話し合いの場面、ワークシートの記述、自己評価・相互評価で評価する。